教育相談
第7回
中間課題

新島学園短期大学
櫻本　和也

★前回の振り返り☆

- 教育相談におけるカウンセリングに関して，代表的な質問技法を用いながら相手の話を聴くことができるようになる

- 聴くポイントを意識しながら，相手の気持ちを受け止めようとする姿勢を忘れない

☆今回のポイント･到達目標！☆

- 本講義の前半で学習した内容を振り返り，自分の言葉で説明できるか否か確認できる

傾聴

- カウンセリングの基本となる姿勢
- クライエントの語りに耳を傾け聴き入る姿勢

現代カウンセリングに深く浸透

基本的姿勢の一つとして根付く

聴く（LISTEN）能動的・積極的に

- 相手の話を能動的・積極的に受け入れようとするレベル
- 相手の話に全神経を
  集中させるレベル

- 「自分の話に興味を持ってくれている」という安堵感から関係の発展につながりやすい

聴く姿勢のポイント

①話し手の目を適度に見る

②適度にうなずく

③話の内容にマッチした表情

④手はあまり動かさない

⑤体は話し手に向ける

⑥リラックスして軽い前傾姿勢

カウンセリング技法の利用

1. 感情の受容：うなずき、相づち
2. 繰り返し：バックトラッキング
3. 質問技法
4. 感情の明確化
5. 承認・再保障
6. 非指示的リード

ロジャーズで押さえておくべきこと

- 無条件の肯定的配慮

一人の価値ある人間として受け入れ積極的な関心を示す

- 共感的理解

クライエントの悩みをその立場に立って理解しようとする

- 純粋性

セラピスト自身の感情に気づいて意識化することが大切

質問技法

- 一問一答形式【＝クローズド・クエスチョン】
- 話し手より聴き手の発話量の方が多い

- 話がうまく流れ、広がりを見せている
  【＝オープン・クエスチョン】
- 話し手が「話を聴いてもらえている」という安堵感を感じ、発話量が自然と多くなる

「引き出す」対話の4段階

①【肯定的関心の表明】

相手が話したくなる聴き方をする

②【共感的理解の伝達】

相手がもっと話をしたくなる聴き方をする

③【具体化への問いかけ】

相手が話をまとめられる聴き方をする

④【内面化への問いかけ】

相手が自分を見つめられる聴き方をする

中間課題

- 論述問題